

第32回日本ミャンマー豊友会スタディーツアに参加して

今回初めてこのツアーに参加させて頂きました。

JAMHAの活動は、近藤さんからお聞きしていましたが、具体的には何も知りませんでした。盛り沢山のハードなスケジュールではありましたが、全てが新鮮な体験でした。

・ピンムーン村の保育園開所式では、村の人々の絶大な歓迎を受けました。また、村の若い保母さん対象に「3歳までの子育ての重要性」について杉本哲也さんの講演がありました。必死で聞き入る保母さんの真剣な姿も印象的でした。この保母さんたちが、岩田さんご夫妻が寄贈された保育園で子供たちを教育していくことがこの国の将来の新しい力になっていき夢に繋がるスタートのように思いました。大きな鯉のぼりと岩田ご夫妻の笑顔が感動的でした。

・職業訓練学校の視察においても学ぶ場もなく、指導してくれる人材も乏しい状況でも技術を学びたい学べる場所を作りたい切実な現地の人々の声を聞きました。社会環境や教育制度が整っている日本では想像もできない現実でした。

・孤児院2か所の訪問は、ドリームトレインでは少数民族の問題で不幸な子供達をジャパンハートが支援していて日本人の大学生にも会いました、翌日のトンテ孤児院では、乳幼児から高校生まで仏教寺院が支援していますが、どちらも清潔な環境で食事が提供され学校に通い安心と安全も確保されている恵まれた子供達ですが、生まれてすぐに捨てられた乳児も多くまた、高校に進学した子供たちの写真が誇らしく飾られていましたが学べる機会が少ないミャンマーの社会状況の厳しさは民間の支援だけでは厳しいと感じさせられました。

・岩田先生の「音楽のある人生」をミャンマー警察音楽隊の方に講演されました。音楽に無縁の私にとってはこの研修に参加しなければ出会わなかったと思います。音楽が自由に楽しめる世界、幼児から楽器に親しめる環境が当たり前でないことを、現地の方が熱心に先生に質問する姿も身近に感じることができました。素晴らしいご夫妻に出会えたことも感謝です。

このスタディーツアは自分や家族も含めて何が幸せか今後の自分の生き方を考えさせられる機会となりました。

参加者の皆様に心から感謝しています。

JAMAHの皆様や近藤さん、水谷さんの献身的な活動に心から尊敬の気持ちでいっぱいです。

是非次回も参加させていただきたいと思っています。